

平成 30 年度 福岡市立 [ 原小 ] 学校・園 学校評価計画書

| Action   |   | Plan   |   |
|--|---|--|---|
| 学校・園の現状・実態   |   | めざす学校像・子ども像・教員像  |   |
| <p>○ 児童は学習・生活の両面に落ち着いた状態にある。学力面では、国語はどの学年も市の平均を上回っており安定している。しかし、算数では、学年でのばらつきも多いため昨年度から、テーマ研究を算数にし、学力向上の面からも算数に絞った取組をはじめた。また、知的・情緒の特別支援学級が設置されていること、校区に聴覚特別支援学校があること、居住地校交流を行っていることがあり、様々な形での交流や人間関係づくりに取組んでいる。</p> <p>○ 学校経営は安定しており、地域からの信頼も得られている状況にある。学級経営もほぼ安定している。</p> <p>○ 地域は、協力的で原小学校への愛着を持った方が多い。朝の交通指導、学習参観にも積極的に参加いただき、常に児童と教員を見守っていただいている。</p> |   | <p>○自由(自己表現できる、認められている)、自信(自己有用感)、安心(仲間意識)のある 学校</p> <p>○自ら学び(学ぶ意欲をもつ、学び方と学習規律を身につけている)、心豊かに(自分や他者を大切にする、感動する)、たくましく生きる(気力・体力をもつ、規範意識がある)子ども</p> <p>○指導力のある教師、組織人である教師</p> |   |
|  |   | 重点目標   | 指標(取組指標・成果指標)   |
|  |   | 確かな学力の育成   | <p>思考力・表現力を育成するために、算数科で自分の考えを書く活動取り入れた授業づくりの全職員での実施</p> <p>算数の学力向上(パワーアップタイム計算スキル、給食準備中の補習) 市学習定着度調査 市平均+3P</p> <p>考える習慣作りのために小集団による話し合い活動を積極的に取り入れた授業づくりの全職員での実施</p> <p>学習用具や準備タイム及び「めあてとまとめのある授業」の共通実践 学習規律の定着90%</p> |
|  |   |  | <p>子どもの所属意識を高める学級経営(集団づくり)</p> <p>QUアンケート(2回)で実践と改善で確認</p> <p>道徳教育の充実</p> <p>道徳の時間にGT 各学年 1回以上</p> <p>いじめゼロプロジェクト</p> <p>いじめアンケート毎月実施して記録</p> <p>特別支援学級、聴覚特別支援学校、市立特別支援学校との交流及び共同学習の実施</p>                              |
|  |   | 人権感覚の育成  | <p>5. 6年生の運動会・集会・代表委員会・委員会活動での主体的活動 児童自己評価85%</p> <p>「あいさつ」運動 全職員と児童会での取組</p> <p>地域・保護者・児童評価 85%</p> <p>掃除 もくもく掃除の徹底</p> <p>ゴミなし80%→90%へ</p>  |
|  |   |  |   |
| 課題   | 今後の改善方策   |  |   |
| 学力向上   | <p>テーマ研究(算数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数の時間における学習の流れが見える板書とノート指導。思考力・表現力の育成</li> <li>授業の充実と計画的な補充学習</li> </ul>          |  |   |
| 人権感覚の育成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学級集団づくりの研修及び実践交流</li> <li>道徳教育の充実といじめアンケートの徹底</li> <li>多様な人・物との交流を通じた合理的配慮や人権感覚を磨く研修の実施</li> </ul> |  |   |
| 自治的能力の育成と基本的な生活習慣の育成   | <p>自治的能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高学年児童を中心とした集団活動における自己評価による目標設定</li> <li>基本的な生活習慣</li> <li>あいさつ運動ともくもく掃除</li> </ul>    | <p>自治的能力の育成と基本的な生活習慣の育成</p>  |   |

| Do・Check   |  |     |   | Action  |
|--|--|-----|---|---|
| 重点目標   | 指標(取組指標・成果指標)                                    | 達成度 | 達成状況についての説明   | 学校・園の現状・実態  |
| 確かな学力の育成   | 思考力・表現力を育成するために、算数科で自分の考えを書く活動取り入れた授業づくりの全職員での実施 | B   | ○テーマ研究を算数で取組み、数学的な考え方を伸ばすことを全職員で確認し、今年度は自分の考えを書く活動に絞って研究を行った。全員が授業を行うことにより研究が深まった。<br>○算数の学力については3年生+3.5P, 4年生+5P, 5年生+3P, 6年生A+7.5P, B+3.5Pであった。<br>○テーマ研究で自分の考えを書く活動に取り組み、それを小集団や学級で話し合う活動を行った。<br>○めあてとまとめのある授業は、全職員に定着できている。学習規律については、全職員で共通理解をしているものの、学級で差があり、目標の達成には至っていない。 | ○全国学力学習状況調査および福岡市学習定着度調査においては、平均と同等かそれ以上の結果がでている。4年生のTTや給食時間の補充学習、ふれあい学び舎事業により効果は出ている。しかし、できている児童とできていない児童の差が大きく、二極化の傾向が見られる。また、学習中の姿勢や発表の仕方など、学習規律が徹底していない。学習規律が乱れている学級は、学習中も落ち着かない状況が見られる。<br><br>○特別支援学級在籍の児童だけでなく、通常の学級においても配慮を必要とする児童が複数いる。個に応じた支援を行っているが、それが効果的かどうかの検証ができておらず、子どもの変容までには至っていないケースもある。 |
|  | 算数の学力向上(パワーアップタイム計算スキル、給食準備中の補習) 市学習定着度調査 市平均+3P | B   |   |   |
|  | 考える習慣作りのために小集団による話し合い活動を積極的に取り入れた授業づくりの全職員での実施   | B   |   |   |
|  | 学習用具や準備タイム及び「めあてとまとめのある授業」の共通実践 学習規律の定着90%       | C   |   |   |
| 人権感覚の育成  | 子どもの所属意識を高める学級経営(集団づくり) QUアンケート(2回)で実践と改善で確認     | B   | ○QUアンケートについては、2回実施した。夏季休業中には研修を行い、学級経営に生かすことができた。<br>○道徳授業公開時に、保護者、地域の方へ本校の実勢について説明ができた。GTについては、今年度全学年での招聘はできていない。<br>○いじめアンケートの確実な実施ができた。また、毎月の記録を残すことで気になる様子等について早めに気付くことができた。<br>○校内での特別支援学級との交流、聴覚特別支援学校との学校間交流、学年での交流、市立特別支援学校との居住地校交流の実施をした。                                | ○全国学力学習状況調査や福岡市学習定着度調査において、自分から進んで行くこと、自分の長所短所を知っているなどの項目で平均よりも低い結果が出ている。言われればするけれども自分からはしない、などの様子もみられる。  |
|  | 道徳教育の充実 道徳の時間にGT 各学年 1回以上                        | C   |   |   |
|  | いじめゼロプロジェクト いじめアンケート毎月実施して記録                     | B   |   |   |
|  | 特別支援学級、聴覚特別支援学校、市立特別支援学校との交流及び共同学習の実施            | B   |   |   |
| 自治的能力の育成と 基本的生活習慣の育成   | 5. 6年生の運動会・集会・代表委員会・委員会活動での主体的活動 児童自己評価85%       | B   | ○5・6年生が運動会・集会・代表委員会・委員会活動において、主体的に活動しており、学校のリーダーとして活動できた。<br>○「あいさつ」運動では児童会やJRC委員会が中心になって取組み、あいさつをする児童が増えた。保護者評価は75%で達成できていない。<br>○もくもく掃除については、全体で取組もうとする意識が高まった。朝掃除の後は、ゴミが少なくなり、学習に落ち着いて取り組める状況ができた。   | 確かな学力<br><br><br>人権感覚<br><br><br>自治的能力<br>基本的生活習慣   |
|  | 「あいさつ」運動 全職員と児童会での取組 地域・保護者・児童評価 85%             | C   |   |   |
|  | 掃除 もくもく掃除の徹底 ゴみなし80%→90%へ                        | B   |   |   |
|  |  | 0   |   |   |
| 学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)   |  |     |   |   |
| ○原小学校の子ども全体を見たとき、思いやりのある子どもが育ち、穏やかで安定している。保護者や地域との連携がうまくできていると思う。<br>○授業参観などで子ども達を見ていると、姿勢が崩れている児童もいる。学校だけではなく、家庭と連携して取り組んでいって欲しい。<br>○掃除時間の様子を見ると、子どもたちは一生懸命活動に取り組んでいる。そのような姿を賞賛することで主体的に取り組もうとする児童の育成につながるのではないだろうか。<br>○目標が達成できるかどうかは、指標の立て方にもよる。まずは、達成できそうな目標からスタートして、職員のモチベーションが上がるようにしてはどうか。 |  |     |   |   |
|  |  |     |   | ①算数の思考力・活用力をさらに高める。テーマ研究と連動し、自分の考えや表現方法を振り返る場を工夫していく。<br>②補充学習や取り出しなどを行い、基礎基本の徹底を図る。<br>③学習規律について年度当初に全職員で共通理解し、定着を図る。  |
|  |  |     |   | ①学習集団づくり及び実践の交流<br>②若年層を対象とした道徳についての研修<br>③いじめや差別をうまないために、教師の人権感覚を磨き、児童、保護者へと伝えていく。<br>④特別支援教育についての研修   |
|  |  |     |   | ①学校外でのあいさつの徹底<br>②掃除時間だけでなく、給食後の簡単清掃などに取り組み、ゴミを減らしていく。  |

| めざす学校像・子ども像・教員像  |  | 課題   | 今後の改善方策  |
|--|--|--|--|
| ○自由(自己表現できる、認められている)、自信(自己有用感)、安心(仲間意識)のある学校<br>○自ら学び(学ぶ意欲をもつ、学び方と学習規律を身につけている)、心豊かに(自分や他者を大切に、感動する)、たくましく生きる(気力・体力をもつ、規範意識がある)子ども<br>○指導力のある教師、組織人である教師   |  | 確かな学力  | ①算数の思考力・活用力をさらに高める。テーマ研究と連動し、自分の考えや表現方法を振り返る場を工夫していく。<br>②補充学習や取り出しなどを行い、基礎基本の徹底を図る。<br>③学習規律について年度当初に全職員で共通理解し、定着を図る。 |
|  |  | 人権感覚   | ①学習集団づくり及び実践の交流<br>②若年層を対象とした道徳についての研修<br>③いじめや差別をうまないために、教師の人権感覚を磨き、児童、保護者へと伝えていく。<br>④特別支援教育についての研修                  |
|  |  | 自治的能力<br>基本的な生活習慣  | ①学校外でのあいさつの徹底<br>②掃除時間だけでなく、給食後の簡単清掃などに取り組み、ゴミを減らしていく。   |
| 重点目標   | 指標(取組指標・成果指標)                                    | 達成状況についての説明  |  |
| 確かな学力の育成   | 思考力・表現力を育成するために、算数科で自分の考えを書く活動取り入れた授業づくりの全職員での実施 | ○テーマ研究を算数で取組み、数学的な考え方を伸ばすことを全職員で確認し、今年度は自分の考えを書く活動に絞って研究を行った。全員が授業を行うことにより研究が深まった。 |  |
|  | 算数の学力向上(パワーアップタイム計算スキル、給食準備中の補習) 市学習定着度調査 市平均+3P | ○算数の学力については3年生+3.5P, 4年生+5P, 5年生+3P, 6年生A+7.5P, B+3.5Pであった。                        |  |
|  | 考える習慣作りのために小集団による話し合い活動を積極的に取り入れた授業づくりの全職員での実施   | ○テーマ研究で自分の考えを書く活動に取り組み、それを小集団や学級で話し合う活動を行った。                                       |  |
|  | 学習用具や準備タイム及び「めあてとまとめのある授業」の共通実践 学習規律の定着90%       | ○めあてとまとめのある授業は、全職員に定着できている。学習規律については、全職員で共通理解をしているものの、学級で差があり、目標の達成には至っていない。       |  |
| 人権感覚の育成  | 子どもの所属意識を高める学級経営(集団づくり) QUアンケート(2回)で実践と改善で確認     | ○QUアンケートについては、2回実施した。夏季休業中には研修を行い、学級経営に生かすことができた。                                  |  |
|  | 道徳教育の充実 道徳の時間にGT 各学年 1回以上                        | ○道徳授業公開時に、保護者、地域の方へ本校の実勢について説明ができた。GTについては、今年度全学年での招聘はできていない。                      |  |
|  | いじめゼロプロジェクト いじめアンケート毎月実施して記録                     | ○いじめアンケートの確実な実施ができた。また、毎月の記録を残すことで気になる様子等について早めに気付くことができた。                         |  |
|  | 特別支援学級、聴覚特別支援学校、市立特別支援学校との交流及び共同学習の実施            | ○校内での特別支援学級との交流、聴覚特別支援学校との学校間交流、学年での交流、市立特別支援学校との居住地校交流の実施をした。                     |  |
| 自治的能力の育成と<br>基本的な生活習慣の育成   | 5.6年生の運動会・集会・代表委員会・委員会活動での主体的活動 児童自己評価85%        | ○5・6年生が運動会・集会・代表委員会・委員会活動において、主体的に活動しており、学校のリーダーとして活動できた。                          |  |
|  | 「あいさつ」運動 全職員と児童会での取組 地域・保護者・児童評価 85%             | ○「あいさつ」運動では児童会やJRC委員会が中心になって取組み、あいさつをする児童が増えた。保護者評価は75%で達成できていない。                  |  |
|  | 掃除 もくもく掃除の徹底 ゴミなし80%→90%へ                        | ○もくもく掃除については、全体で取り組もうとする意識が高まった。朝掃除の後には、ゴミが少なくなり、学習に落ち着いて取り組める状況ができた。              |  |
|  | 0  |  |  |
| 学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)   |  |  |  |
| ○原小学校の子ども全体を見たとき、思いやりのある子どもが育ち、穏やかで安定している。保護者や地域との連携がうまくできていると思う。<br>○授業参観などで子ども達を見ていると、姿勢が崩れている児童もいる。学校だけではなく、家庭と連携して取り組んでいって欲しい。<br>○掃除時間の様子を見ると、子どもたちは一生懸命活動に取り組んでいる。そのような姿を賞賛することで主体的に取り組もうとする児童の育成につながるのではないだろうか。<br>○目標が達成できるかどうかは、指標の立て方にもよる。まずは、達成できそうな目標からスタートして、職員のモチベーションが上がるようにしてはどうか。 |  |  |  |